

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-333331

(43)Date of publication of application : 30.11.2000

(51)Int.Cl.

H02G 1/06

(21)Application number : 11-143207

(71)Applicant : BUREST KOGYO KENKYUSHO CO LTD

(22)Date of filing : 24.05.1999

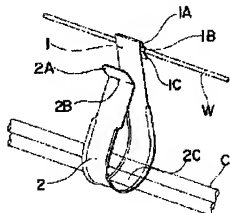
(72)Inventor : KOJIMA TAKESHI

(54) SUPPORT FOR CABLE-LEAD WIRE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate attaching and detaching a support to and from a messenger wire, placing and changing cables in the support and support cables without fail, even if the messenger wire swings or slackens.

SOLUTION: A support for cable-lead wire is provided with an anchoring body 1, which is fit onto the side of a messenger wire W and crimped onto the messenger wire W, and a hook body 2 which is extended downward from the anchoring body 1 and supports cables C. The anchoring body 1 comprises a clamping portion 1A, fitting portion 1B, and a wire inserting portion 1C. The hook body 2 is constituted of a cable inserting portion 2A, a narrowed portion 2B, and a support portion 2C.



일본공. 특허청보 병12-333331호(2000 1.30.) 1부.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-333331
(P2000-333331A)

(43) 公開日 平成12年11月30日(2000.11.30)

(51) Int.Cl.⁷ H02G 1/06 301 F I H02G 1/06 301 C 7-00-1* (参考)

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-143207
(22) 出願日 平成11年6月24日(1999.6.24)

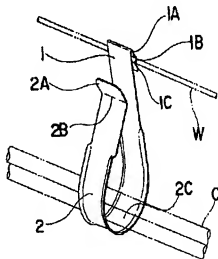
(71) 出願人 000136686
株式会社プレスト工業研究所
東京都江戸川区中央1丁目3番3号
(72) 発明者 小島 武
東京都江戸川区中央1丁目3番3号 株式会社プレスト工業研究所内
(74) 代理人 100068223
弁理士 中村 成美

(54) 【発明の名称】 ケーブル先行配線用支持具

(57) 【要約】

【解決手段】 メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合して圧着する係止体1と、この係止体1から下方に延びられてケーブルCを支持するフック体2とを設ける。係止体1は、嵌着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cで構成する。フック体2は、ケーブル導入部2A、嵌着部2B、支持部2Cで構成する。

【効果】 メッセンジャーワイヤーへの支持具の着脱が容易である。支持具へのケーブルの嵌着や差し替えが容易に行うことができる。メッセンジャーワイヤーに傷れや痛みがあってもケーブルを確実に支持することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケーブル先行配線工事に用いるメッセージワイヤーに装着する支持具であって、メッセージワイヤーの側面に嵌合して圧着する係止部と、この係止部から下方に延びたケーブルを支持するフック部とを設けたことを特徴とするケーブル先行配線用支持具。

【請求項2】 前記係止部は、フック部の上端部を屈曲してメッセージワイヤーを圧着する係着部と、この係着部の弾性力でメッセージワイヤーの側面に押圧され、メッセージワイヤーの側面に嵌合する嵌合部と、嵌合部の開放端部がわに延長されてメッセージワイヤーを側面から導入するようにメッセージワイヤーの直徑より広く開かれたワイヤー導入部とから構成された請求項1記載のケーブル先行配線用支持具。

【請求項3】 前記フック部は、フック部の開放端部をケーブルの厚みより広く延開してケーブル導入部を設け、このケーブル導入部から延長されたケーブルの厚みより狭く形成したフック部自体の弾性力で開閉する嵌合部を設けた請求項1又は2記載のケーブル先行配線用支持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電気配線工事において最近行われているケーブル先行配線工事に使用するため、従前の間に発明したメッセージワイヤーに、必要なケーブルを予め支持しておく様に用いるケーブル先行配線用支持具に関する。

【0002】

【従来の技術】 最近行われているケーブル先行配線工事では、架材と架材との間にメッセージワイヤーを架設し、このメッセージワイヤーを利用して必要なケーブルを先行して配線する工事が行われている。

【0003】 このときケーブルをメッセージワイヤーに係止するために、従来では図4に示すようなナイロンバンド等の結束具Nを用いてケーブルCをメッセージワイヤーWに結束する手段が採られていた。

【0004】 また、ナイロンバンド等の結束具の代わりメッセージワイヤー用のケーブル支持具を用いることもある。このケーブル支持具は、メッセージワイヤーに嵌止するフック部とケーブルを支持する支持部とを設けたものが使用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、ナイロンバンド等の結束具Nを使用する場合は、複数のケーブルCをまとめて結束するため、一部のケーブルCのルートが変更になった場合には、すべての結束具Nを切開して変更したケーブルCを抜き取り、残ったケーブルCを再び結束する作業が必要になるのである。面倒な作業を要するものとなる。また、結束したケーブルCに他のケー

ブルCを追加する場合には、結束した複数のケーブルCに、追加するケーブルCをまとめて新たなナイロンバンド等の結束具Nで結束する作業になるから、追加する場合にも手間を要するものである。

【0006】 一方、メッセージワイヤー用のケーブル支持具を使用した場合は、このケーブル支持具のフック部がメッセージワイヤーに沿って滑動する構造なのでメッセージワイヤーのずれや振動によって移動し、メッセージワイヤーが弛むと、この弛んだ部分にケーブル支持具が次第に集まってしまふ不都合が生じていた。

【0007】 しかも、この種のケーブル先行配線工事は、高所作業になることから、ケーブルの重さや支持具の電装が簡単でしかも確実なものが望まれていた。

【0008】 そこで本発明は、上述の課題を解決すべく創出されたもので、メッセージワイヤーへの支持具の着脱が容易で、且つ支持具へのケーブルの装着や差し替えが容易に行うことができ、しかも、メッセージワイヤーにずれや振動があってもケーブルを確実に支持することができるケーブル先行配線用支持具の提供を目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上述の目的を達成すべく本発明の第1の手段は、ケーブル先行配線工事に用いるメッセージワイヤーWに装着する支持具であって、メッセージワイヤーWの側面に嵌合して圧着する係止部1と、この係止部1から下方に延長されてケーブルCを支持するフック部2を設けたことにある。

【0010】 第2の手段の係止部1は、フック部2の上端部を屈曲してメッセージワイヤーWを圧着する係着部1Aと、この係着部1Aの弾性力でメッセージワイヤーWの側面に押圧され、メッセージワイヤーWの側面に嵌合する嵌合部1Bと、嵌合部1Bの開放端部がわに延長されてメッセージワイヤーWを側面から導入するようにメッセージワイヤーWの直徑より広く開かれたワイヤー導入部1Cとで構成する。

【0011】 第3の手段のフック部2は、フック部2の開放端部をケーブルCの厚みより広く延開してケーブル導入部2Aを設け、このケーブル導入部2Aから延長されたケーブルCの厚みより狭く形成したフック部2自体の弾性力で開閉する嵌合部2Bを設けたことを課題解決のための手段とする。

【0012】 本発明によると、係止部1の係着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cによって、メッセージワイヤーWへ本発明支持具を着脱する。また、フック部2のケーブル導入部2A、嵌合部2Bによって、ケーブルCの装着や差し替えを行うものである。

【0013】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明の実施例を詳細に説明する。本発明支持具は、ケーブル先行

配線工事に用いるメッセージワイヤーWに装着してケーブルCを支持するもので、係止体1とフック体2とで構成する(図4参照)。これら係止体1及びフック体2は、弾性を有する金属材料又はプラスチック材で一体に形成する。

【0014】係止体1は、メッセージワイヤーWの側面に嵌合して圧着するもので、挟持部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cからなる。

【0015】挟持部1Aは、フック体2の上端部を屈曲して屈曲した部分で、メッセージワイヤーWの左右両面を挟着する(図2参照)。そして、この挟持部1Aは、メッセージワイヤーWの側面に嵌合する嵌合部1Bを設けている。

【0016】嵌合部1Bは、挟持部1Aの弾性力で押圧されてメッセージワイヤーWの側面に嵌合停止する。このとき、屈曲に示す如く、嵌合部1Bの上部を屈曲してメッセージワイヤーWの上端部にスペースを設けるように弾性部1Dを設けている。この弾性部1Dは挟持部1Aの弾性力を保持するもので、嵌合部1Bの開閉操作を容易にして、高所での係止体1の高取作業をより簡便にするものである。また、図3に示すように、メッセージワイヤーWの上面から側面を嵌合部1Bで嵌合するようにしてもよい。

【0017】ワイヤー導入部1Cは、嵌合部1Bの開閉端部がわに延長した部分で、メッセージワイヤーWの側面から導入し易くするように、メッセージワイヤーWの面度よりも開閉端部が広く開かれている。

【0018】フック体2は、係止体1から下方に延長され、ケーブルCを支持する構成である。このフック体2の開閉端部には、ケーブルCの厚みより広く屈曲したケーブル導入部2Aを設けている。更に、このケーブル導入部2Aから延長された位置に、嵌合部2Bを設けている。この嵌合部2Bは、ケーブルCの厚みより狭くなるように形成されており、フック体2自体の弾性力で開閉する。ケーブル導入部2Aから導入されたケーブルCは、この嵌合部2Bを弾力的に屈折して支持部2Cに支持される。弾力的に屈折された嵌合部2Bは、フック体2の弾性力で再び元の状態に戻って、支持部2CのケーブルCの脱落を防止する。支持部2CのケーブルCを曲げ変える場合は、ケーブルCを持ち上げるだけで嵌合部2Bから取り外すことができる。図示のフック体2は、金属素材を屈曲して形成した実施例を示しているが、金属のフック体2がケーブルCの屈折を曲げないようになっているため、このフック体2を合成樹脂材で構成することも

ある(図示せず)。また、フック体2や係止体1を強化プラスチック材で形成することも可能である。

【0019】

【発明の効果】本発明は、上述の如く構成したことにより、当初の目的を達成する。

【0020】すなわち、請求項1の係止体1により、メッセージワイヤーWへの支持具の着脱が容易に行なえる。また、フック体2により、支持具へのケーブルCの着脱や差し替えを容易に行うことができる。

【0021】請求項2に記載の挟持部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cにより、メッセージワイヤーWに挂れや挟みがあっても、メッセージワイヤーWに係止体1を確実に固定することができる。また、高所での係止体1の着脱も容易である。

【0022】請求項3に記載のケーブル導入部2A、嵌合部2Bによって、フック体2に支持したケーブルCを確実に保持することが可能になった。しかも、メッセージワイヤーWの挂れに代って、フック体2が大きく挂れた場合でも、ケーブルCがフック体2から外れることはない。

【0023】このように本発明によると、メッセージワイヤーへの支持具の着脱が容易で、且つ支持具へのケーブルの着脱や差し替えが容易に行うことができ、しかも、メッセージワイヤーに挂れや挟みがあってもケーブルを確実に支持することができるなど、ケーブル配線工事上好適な種々の効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す斜視図。

【図2】本発明の係止体の一実施例を示す拡大側面図。

【図3】本発明の係止体の他の実施例を示す拡大側面図。

【図4】従来の結束具を使用した状態を示す正面図。

【符号の説明】

| | |
|----|-----------|
| C | ケーブル |
| N | 結束具 |
| W | メッセージワイヤー |
| 1 | 係止体 |
| 1A | 嵌合部 |
| 1B | ワイヤー導入部 |
| 1C | 弾性部 |
| 2 | フック体 |
| 2A | ケーブル導入部 |
| 2B | 嵌合部 |
| 2C | 支持部 |

